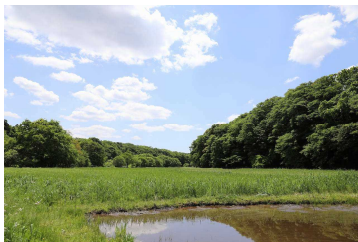

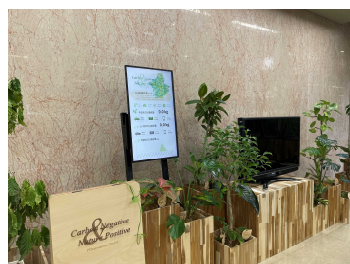


「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体が決定しました

国土交通省では、「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体として、グリーンインフラに取り組む地方公共団体3地域を決定しました。
重点支援団体に対しては、コンサルタントや専門家の派遣等を通じて、計画づくりや推進体制の構築等を支援し、官民連携によるグリーンインフラの実装を加速します。

重点支援団体（北から順）

団体名	取組概要
佐倉市 (千葉県)	<p>グリーンインフラの推進、ウェルビーイングの向上、民間事業者との公民連携という視点を踏まえた「佐倉里山自然公園整備基本構想」を令和5年6月に策定。今後、基本構想に基づいた「アクションプラン」の作成、アクションプランを推進するための「協議会」の設立を目指す。</p>  <p>佐倉里山自然公園</p>
犬山市 (愛知県)	<p>かつて日本八景に選出された名勝木曾川の風光明媚な景観を活かし、再興させるため、全長460mある遊歩道を含む木曾川河畔空間の整備の検討している。今後、豊かな自然と景観を活かしたまちづくりを進めていくことを目指し、河畔空間の使い方を確かめる実証事業の継続や、遊歩道の調査など具体的な取り組みを実施する。</p>  <p>木曾川河畔整備後のイメージ図</p>
久山町 (福岡県)	<p>令和4年3月に日本で初めて「カーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ」を宣言し、産官学民が連携した各種実証を展開している。「生産」と「消費」そして「人づくり」が循環し、さらにはその成果が人々のウェルビーイングの向上や健康づくりに寄与する一連の仕組みをグリーンインフラモデルとして構築するために、推進体制の構築や取組の「ブランド化」を目指す。</p>  <p>取り組みの一環で住民と緑化した庁舎ロビー</p>

添付資料

令和5年度先導的グリーンインフラモデル形成支援 概要

<問い合わせ先>

国土交通省総合政策局環境政策課 担当：一丸、東岡、末原

TEL：03-5253-8111（内線24331、24334）、03-5253-8262（直通）